

日本セラミックス協会理工系人材育成活動助成金 活動報告書

佐賀県立有田工業高等学校 セラミック科展 Saga Prefectural Arita Technical Senior High School Exhibition of Ceramic Department

(佐賀県立有田工業高等学校) 速見 豪
(Saga Prefectural Arita Technical Senior High School) HAYAMI, Takeshi

実施日	2017年8月19日、20日	Date	August 19&20, 2017
実施場所	博多阪急(7階イベントホール「ミューズ」)	Place	Hakata Hankyu (7F Event Hall "Muse")
住所	福岡県博多市博多区	Address	Hakata-Ku, Fukuoka City, Fukuoka
主催	株式会社 阪急阪神百貨店 博多阪急 佐賀県立有田工業高等学校	Organizer	Co., LTD Hankyu Hanshin Department Store, Hakata Hankyu Saga Prefectural Arita Technical Senior High School

2017年8月19日(土)、8月20日(日)の2日間、「佐賀県立有田工業高等学校セラミック科展」を博多阪急7階イベントホール「ミューズ」で開催した。主催は博多阪急と本校である。また、公益社団法人日本セラミックス協会から協力をいただいた。

本展の目的は、有田工業高等学校セラミック科の活動内容や成果の紹介と、生徒の卒業後の進路先等を知っていただくとともに、絵付けやろくろの体験教室をとおして、来場された方々にやきものづくりの楽しさを再確認していただくことである。

今回の展覧会は、大きく分けて展示と体験コーナーの構成とした。展示関係では、授業で制作した陶磁器作品約70点(全日制・定時制生徒作品、聴講生作品)、展示パネル(セラミック科紹介2枚、聴講生紹介2枚、セラミック科の特徴的な取組の紹介2枚、本校課題研究の紹介(「人工ルビーの制作」(ファインセラミックス関係))2枚を展示した。また、実習系の授業で使用する「デジタル教材」なども展示した。体験コーナーでは、ろくろ体験と絵付け体験を実施した。

絵付け体験(湯呑への絵付け)をされた方は、1日目66名、2日目58名の計124名であった。ろくろ体験をされた方が2日間で約50名であった。展覧会全体での来場者数は、2日間で約400名であった。絵付け、ろくろともに体験されていたのは親子連れが最も多く、絵付け体験では自由な発想で絵付けをされていて、色とりどりの湯呑が完成していた。ろくろ体験では、磁器土の滑らかな感触を感じながら、手の中で自由に形が変わっていく「ろくろの楽しさ」を感じられている様子であった。なお、絵付けをした湯呑については、学校に持ち帰り、本焼成後、博多阪急で体験者へ受け渡しを行った。

今回の展覧会を開催したことで、ご来場いただいた多くの方に、有田工業高等学校セラミック科の教育活動の一端と、やきものづくりの楽しさ、また、「セラミックスとは何か」について知っていただく機会になった。今後もこのようなセラミックに関心を持っていただくための校外活動を継続していきたい。



会場風景①
Scene①



会場風景②
Scene②



会場風景③
Scene③



ろくろ体験コーナー
Potter's section



絵付け体験コーナー
Painting section



完成した湯呑
Finished teacups